

攻めのIT経営中小企業百選 応募用紙C(実践内容)記載の留意点

4

提出前に、以下の確認をお願いします。

- 1) 実践内容を十分伝えるだけの情報量となっていますか。(説明の量)
- 2) 経営課題や目指す方向について、あるいは結果実現までの経緯について、わかり易く書かれていますか。(文章のすじみち)
- 3) IT活用を含めた目標実現のための方策に対応する成果が書かれていますか。(目標に対する成果)
- 4) 成果実現のための新たなビジネスモデルや自社専用システムの構築、また汎用的ソフト活用における改善等、自社の工夫が書かれていますか。(独自の工夫)
- 5) IT経営実践の事業成果(売上高、利益)が書かれていますか。(事業の成果)

1 “応募用紙C(実践内容)”は、攻めのIT経営の実践について、取組みのきっかけから成果実現に至るまでの一連の経緯(ストーリー)について、書いていただくものです。特に、審査員に内容が的確に伝わるようにするため、以下についてご留意願います。

2 “応募用紙C(実践内容)”は、「全般」と4つの「大項目」で構成されています。各項目の意図に合わせて、相互に関連付けながら実践内容を記載してください。

《全般》
⇒貴社のビジネスの特徴や強み、優れている点等について、記載してください。

《大項目Ⅰ》
認識すべき経営の状況と経営課題について
⇒IT経営に取組む時点で、どんなことを問題と捉え、何を経営課題としたか、記載してください。

《大項目Ⅱ》
経営課題を実現するための方策⇒経営課題(達成目標)を実現するため、IT活用やIT以外も含め、どんな方策に取組んだか、記載してください。

《大項目Ⅲ》
攻めのIT経営推進の取組⇒経営課題を実現するため、推進体制や役割分担等について記載してください。

《大項目Ⅳ》
攻めのIT経営実践の成果について⇒取り組み時点で掲げた課題や取り組み目標がどこまで達成されたかを記載してください。

攻めのIT経営中小企業百選 応募用紙C(実践内容)

【注意事項】 応募用紙は外装無効として管理し、このまま公表することはありません。公表する場合は、改めて掲載権限のご承認が必要です。

会社名・組織名 受付番号 TAXXX

1. 貴社のビジネスの特徴や強み、あるいは既存事業と比べて優れている点等について、記載してください。

2. 攻めのIT経営実践の取組に当たって、経営課題をどのように認識し、どのような方策で実現しようとしているか、具体的な取組内容について、記載してください。

3. 上記2.で記載した取組の状況認識と項目2.の課題認識を踏まえ、書き出された「経営課題」をその内容、経緯、及び経営課題実現に向けての達成目標を具体的な(定量的・定性的)に記載してください。(※応募用紙Cの対応欄と関連付けてください)

攻めのIT経営中小企業百選 応募用紙C(実践内容)

【注意事項】 応募用紙は外装無効として管理し、このまま公表することはありません。公表する場合は、改めて掲載権限のご承認が必要です。

1. 攻めのIT経営実践の取組に当たって、経営課題をどのように認識し、どのような方策で実現しようとしているか、具体的な取組内容について、記載してください。

2. 攻めのIT経営実践の取組に当たって、経営課題をどのように認識し、どのような方策で実現しようとしているか、具体的な取組内容について、記載してください。

3. 上記2.で記載した取組の状況認識と項目2.の課題認識を踏まえ、書き出された「経営課題」をその内容、経緯、及び経営課題実現に向けての達成目標を具体的な(定量的・定性的)に記載してください。(※応募用紙Cの対応欄と関連付けてください)

4. 上記3.で記載した取組の状況認識と項目2.の課題認識を踏まえ、書き出された「経営課題」をその内容、経緯、及び経営課題実現に向けての達成目標を具体的な(定量的・定性的)に記載してください。(※応募用紙Cの対応欄と関連付けてください)

攻めのIT経営中小企業百選 応募用紙C(実践内容)

【注意事項】 応募用紙は外装無効として管理し、このまま公表することはありません。公表する場合は、改めて掲載権限のご承認が必要です。

1. 攻めのIT経営実践の取組に当たって、経営課題をどのように認識し、どのような方策で実現しようとしているか、具体的な取組内容について、記載してください。

2. 攻めのIT経営実践の取組に当たって、経営課題をどのように認識し、どのような方策で実現しようとしているか、具体的な取組内容について、記載してください。

3. 上記2.で記載した取組の状況認識と項目2.の課題認識を踏まえ、書き出された「経営課題」をその内容、経緯、及び経営課題実現に向けての達成目標を具体的な(定量的・定性的)に記載してください。(※応募用紙Cの対応欄と関連付けてください)

4. 上記3.で記載した取組の状況認識と項目2.の課題認識を踏まえ、書き出された「経営課題」をその内容、経緯、及び経営課題実現に向けての達成目標を具体的な(定量的・定性的)に記載してください。(※応募用紙Cの対応欄と関連付けてください)

攻めのIT経営中小企業百選 応募用紙C(実践内容)

【注意事項】 応募用紙は外装無効として管理し、このまま公表することはありません。公表する場合は、改めて掲載権限のご承認が必要です。

1. 攻めのIT経営実践の取組に当たって、経営課題をどのように認識し、どのような方策で実現しようとしているか、具体的な取組内容について、記載してください。

2. 攻めのIT経営実践の取組に当たって、経営課題をどのように認識し、どのような方策で実現しようとしているか、具体的な取組内容について、記載してください。

3. 上記2.で記載した取組の状況認識と項目2.の課題認識を踏まえ、書き出された「経営課題」をその内容、経緯、及び経営課題実現に向けての達成目標を具体的な(定量的・定性的)に記載してください。(※応募用紙Cの対応欄と関連付けてください)

4. 上記3.で記載した取組の状況認識と項目2.の課題認識を踏まえ、書き出された「経営課題」をその内容、経緯、及び経営課題実現に向けての達成目標を具体的な(定量的・定性的)に記載してください。(※応募用紙Cの対応欄と関連付けてください)

3 “応募用紙A(攻めのIT経営中小企業評価指標)”の判断根拠となる具体的な取組みを記載内容に含めてください。

《評価指標Ⅰ》攻めのIT経営課題に基づく経営計画等
①広い視野、的確な情報源等による、ありたい姿、経営課題の設定は？
②実現目標や実現プロセス等の具体化し、共有化は？
③既存事業分野での競争力強化についての明確な意図は？
④新規分野や新規事業での競争力強化についての明確な意図は？

《評価指標Ⅱ》攻めのIT活用・投資の実施状況等
①全体最適からの見たIT機能の範囲やIT活用からの業務範囲は？
②QCdや人モノかねの見える化等経営判断支援のIT活用は？
③HP、SNS等の情報発信や情報収集など、顧客獲得のためのIT活用は？
④競争力強化を狙いとしたIT活用工夫は？

《評価指標Ⅲ》攻めのIT活用・投資の取組に関わる社内体制及び人材
①全社一丸体制を実現するための工夫は？
②経営計画実現のための役割分担や組織運営の工夫は？
③社内人材の育成について重点や工夫は？
④社内スキルを補うための外部人材活用・外部連携の重点や工夫は？

《評価指標Ⅳ》攻めのIT投資の効果及び事後評価の状況
①経営計画で目標とした売上・利益等についての実績は？
②既存事業分野での業務上の実現目標についての定量的な実績は？
③新規事業分野での実現目標についての定量的な実績は？
④経営計画で期待した定性的な目標についての成果は？

攻めのIT経営中小企業百選
応募用紙C（実践内容）

【注意事項】
応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはあり
ません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解をいただきます。

『大項目Ⅲ. 攻めのIT経営推進の取組』では、『大項目Ⅰ.』で掲げた経営課題を実現するための
推進体制や役割分担、およびそれぞれの取り組みの状況について記載してください。
以下、項目1. 2. 3. 4. 6. は該当するものを選択し、項目5. 7. は自由記載です。

Ⅲ. 攻めのIT経営推進の取組 《応募用紙A・Ⅲ 関連》	1. 攻めのIT経営を進める上で、経営者はどのように関わり、どのような役割を担いましたか。該当する項目に○印を記入してください。《経営者の役割》	() ①自ら方針を決め、自ら先導した () ②自ら方針を決め、実施はキーマンに委ねた () ③キーマンの提案を承認し、キーマンに実施を委ねた () ④その他()
	2. 攻めのIT経営の推進に大きく貢献した社内人材(キーマン)は、どのような役割を担ったか、該当する項目に○印を記入してください。《キーマンの役割》	() ①経営者の指示の元に、攻めのIT経営を推進した () ②経営者と常に連携しながら、攻めのIT経営を推進した () ③経営者に代わって、攻めのIT経営を推進した () ④その他()
	3. 攻めのIT経営を実践する際に利用した外部人材等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《外部人材》	() ①ITコーディネータ () ②中小企業診断士 () ③ITベンダ () ④行政機関 () ⑤中小企業支援機関(商工団体等) () ⑥その他の外部人材
	4. 攻めのIT経営を実践する際に利用した支援施策等について、該当する項目すべてに○印を記入してください。《支援施策等》	<国・自治体等公的機関の支援施策> () ①攻めのIT経営支援団体(ITコーディネータ協会や商工団体等を含む)のIT利活用研修・セミナー () ②商工団体等の支援機関の窓口相談 () ③専門家派遣 () ④ITベンダとのマッチング交流会 () ⑤公的機関Webサイト(IT経営ポータル)のHP等 () ⑥政府系金融機関の低利融資 () ⑦税制(中小企業投資促進税制等) () ⑧地方自治体のIT化支援(具体名称: () ⑨その他() <民間機関等の活用> () ⑩民間企業主催のIT研修 () ⑪民間コンサルタントに対する相談 () ⑫民間金融機関の融資 () ⑬その他() () ⑭特にどちらの施策も利用しなかった(自己資金、社内人材等で対応)
	5. 上記3. および4. で選択した外部人材または支援施策等のうち、攻めのIT経営の推進に最も貢献した項目を1つ選び、その貢献内容について記載してください。	最も貢献のあった外部人材: _____ (貢献の内容) _____ 最も貢献のあった支援施策: _____ (貢献の内容) _____
	6. 攻めのIT経営を推進した成果が実現(実感)できた背景やその要因について、該当する項目すべてに○印を記入してください。	() ①経営者の問題意識が強い思い () ②経営課題や目的・目標の明確化 () ③推進キーマンの主体的・広範囲な活動 () ④事業や業務プロセスの整備を伴う推進 () ⑤スピードや期日を意識した計画的な推進 () ⑥経営者と社員との一体化した推進 () ⑦攻めのIT経営推進過程でのリスク評価と対応的確さ () ⑧人材の育成や評価とリンクした推進 () ⑨社外専門家を有効に活用できた () ⑩支援制度を有効に活用できた () ⑪その他()
	7. 上記6. で選択した要因のうち、最も影響の大きかった項目1つについて、具体的に記載してください。	最も影響の大きかった項目: (具体的内容)

《自由記載》
項目7. は、項目6. で選択したものについて、具体的に記載してください。
加えて、応募用紙A「Ⅲ. 攻めのIT利活用・投資の取り組みに関わる社内体制及び人材」の各質問に対する判定結果の裏付けとなる事柄を含めて、または補足として記載してください。

- ・経営トップ方針と全社一丸での推進について
- ・的確な役割分担と推進運営について
- ・社内の人材活用について
- ・外部人材や支援施策制度の活用について

攻めのIT経営中小企業百選
応募用紙C（実践内容）

【注意事項】
応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはあり
ません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解をいただきます。

『大項目Ⅳ. 攻めのIT経営実践の成果について』では、『大項目Ⅰ.』で掲げた経営課題や実現のための具体的な取り組み目標について、どこまでの成果が実現できたかを記載してください。
以下、項目1. 2. は、該当するものを選択し、これらを含めて、項目3. 4. に自由記載してください。

Ⅳ. 攻めのIT経営実践の成果について 《応募用紙A・Ⅳ 関連》	1. 攻めのIT経営を実践した成果について、該当する項目すべてに○印を記入してください。	() ①売上や利益の確保 () ②商品・サービスの付加価値の向上 () ③採みや特徴の確立 () ④知名度、ブランド力向上 () ⑤顧客満足度向上、既存顧客拡大 () ⑥市場開拓・販路拡大、新規顧客拡大 () ⑦他社との協業等による事業拡大 () ⑧新規事業、新しいビジネスモデルの創出 () ⑨経営数値に基づく経営判断 () ⑩迅速な意思決定・経営判断 () ⑪リードタイム短縮(期間短縮) () ⑫品質改善 () ⑬人件費、賃借料等の固定費削減 () ⑭原材料、外注、商品仕入等の変動費削減 () ⑮社内(社員間)の情報共有 () ⑯社外との情報交換 () ⑰技能の継承や技術者の育成・社員の意識向上 () ⑱人材の確保や正しい評価等 () ⑲クラウドファンディングや内部統制の厳格化 () ⑳その他()
	2. 上記1. で選択した成果のうち、主要な項目を最大3項目を選んでください。	
	3. 上記2. で選択した主要な項目について、それぞれの成果内容を、開始時点(概ね5年以内)と現時点との違いが、定量的に分かるように記載してください。*(応募用紙A)Ⅳ. の判定根拠と関連付けてください。	(定量的成果の内容)(“①売上や利益の確保”の成果とその実現経緯については、必ず記載してください)
	4. 上記3. と併せて、開始時点と現時点を比較した定性的な成果を、具体的に記載してください。*(応募用紙A)Ⅳ. 4. の判定根拠と関連付けてください。	(定性的成果)

《自由記載》
IT経営に取組んだ時点から、成果が得られた現時点までの概ね5年間で比較で、項目3. 定量的成果、項目4. 定性的成果をそれぞれ記載してください。

加えて、応募用紙A「Ⅳ. 攻めのIT投資の効果及び事後評価の状況」の各質問に対する判定結果の裏付けとなる事項を含めて、または補足として記載してください。

- ・経営計画で目標とした売上・利益についての定量的成果について
- ・既存事業分野について実現目標とした取り組みテーマについての定量的成果について
(例えば、顧客数、取扱数、売上比率変化等)
- ・新規分野への進出について実現目標とした取り組みテーマについての定量的成果について
- ・経営計画で期待した定性的な成果や従来からの変化の面での成果について

攻めのIT経営中小企業百選
応募用紙C（実践内容）

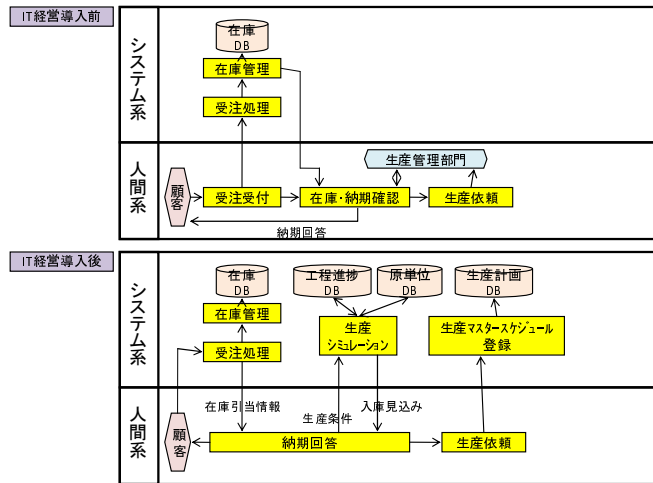
【注意事項】
応募用紙は外部秘扱いとして管理し、このまま公表することはありません。公表する際は、改めて掲載原稿のご了解をいただきます。

【1. IT活用概念図】※業務フロー、システム概念図等、事業全体と取組対象業務やシステム全体と応募事例でのIT活用の関係がわかる図を添付してください。（空白ページに貼り付けてください。最大5頁の制限を超えても構いません）

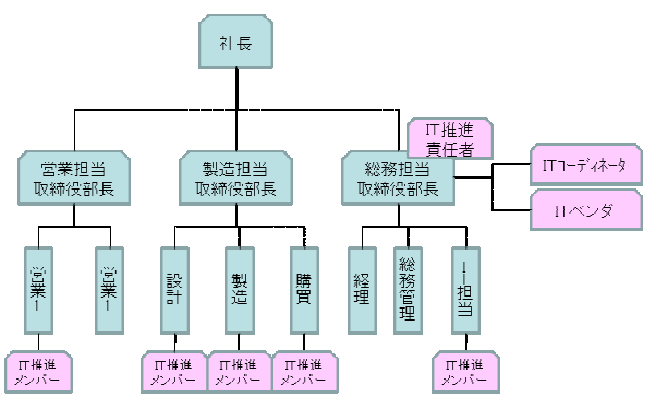
【2. 組織図】※組織図（概略図）があれば添付してください。（空白ページに貼り付けてください。最大5頁の制限を超えても構いません）

ワークフローの作成サンプル

人手の業務とITによる業務の分担を表現することによりIT活用度の違いを分かり易く表現した事例

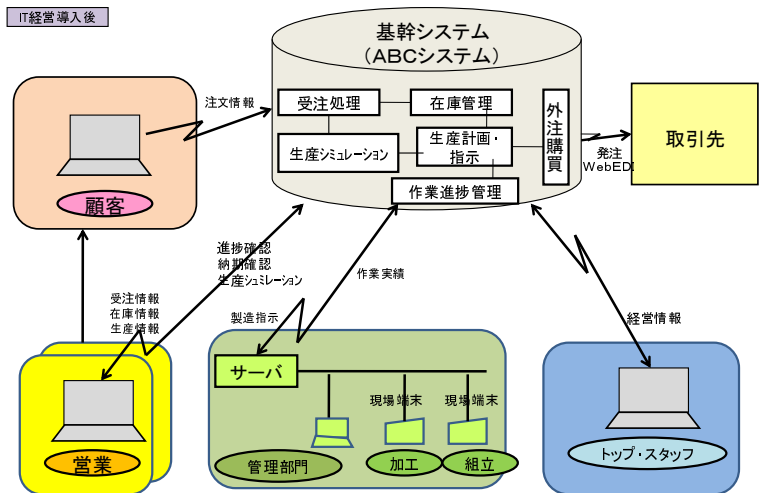


IT経営推進組織図の例



システム概念図の作成サンプル

情報活用や部門間での情報連携など、情報中心にシステム全体の特長を表現した事例



応募用紙は、添付図等も含めて、最大10頁にまとめてください。
全般及び項目I～IVを5頁程度、添付図等を5頁程度にまとめてください。

これまでの「攻めのIT経営中小企業百選」選定企業の概要は、以下のURLから参照してください。
http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/investment/it_keiei/100sen.html